COMET

Suisei-Ⅳ System

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

はじめに

このたびは、コメット Suisei-Ⅳシステムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機はバッテリー式として、撮影時の多ショット化・高速化に対応するバックグラウンドライトとして開発されました。2.2 秒の高速充電と約 300 回前後の連続使用が可能です。また、電源のオートパワーオフや、ヘッドを PMT 系ヘッド・CX 系ヘッド(PMT 変換コード必要〔別売〕) など多種のヘッドを使用可能にし、機能や利便性の改善を計りました。Suisei-Ⅳヘッドはプラグインタイプの放電管ユニットを採用し安全性の向上と放電管の交換が簡単になりました。2 種類のリフレクター (ラウンドライトフード〔別売〕) が用意されていますので幅広くライティングをサポートいたします。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

●保証書　●ご愛用者登録カード　●取扱説明書

【標準セット】
● Suisei-Ⅳ電源部(PMT 充電器用コード付) ● Suisei-Ⅳ RL ヘッド
●モデリングランプ(24V-35W) ●充放電器 (NCD-24) セット
●ニッケル水素電池 (NHB-2428) ●SUI-Ⅳ RLH モノポール(雲台付)
●フィルター取付枠 SUI-Ⅳヘッド用
●彗星ヘッド用フィルターセット 6 枚

目次

1. 安全のため特にご注意ください …… 1～4
2. 使用上のご注意とお願い …… 5
3. 各部の名称とはたらき …… 6～8
4. 操作手順 …… 9～10
5. 電池残量表示 …… 11
6. パワーオフ機能 …… 11
7. 出力バリエーター …… 12
8. モデリングスイッチ …… 12
9. サウンドスイッチ …… 12
10. フォトセルスイッチ …… 12
11. 不発光警報 …… 13
12. 過熱警報 …… 13
13. 専用ヘッド以外のヘッドの使用について …… 13
14. 放電管ユニットの交換 …… 14
15. モデリングランプの交換 …… 14
16. 充放電器 …… 15～19
17. 保証とアフターサービス …… 20
18. 仕様 …… 21～22
19. 寸法図 …… 23

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味

△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。

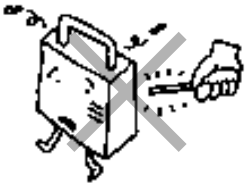
●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警　告

■ 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



■ 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

■ 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。
取扱いには十分注意をしてください。

■ ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。差し込み後、締め付けリングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

■ 発光部は発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

■ 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

■ 使用電圧は AC100 ～ 120/200 ～ 240V（50/60Hz）です。（充放電器 NCD-24）

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

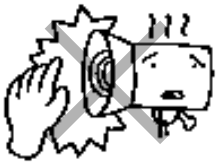
■ ヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

⚠注　意

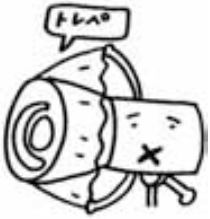
■ 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用は、しないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



■ モデリングランプは弊社指定の　定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

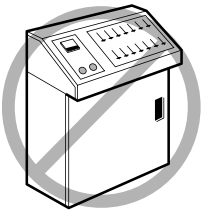
■ 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

■ 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。
（NCD-24 充放電器）

2 使用上のご注意とお願い

■ 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。（NCD-24 充放電器）

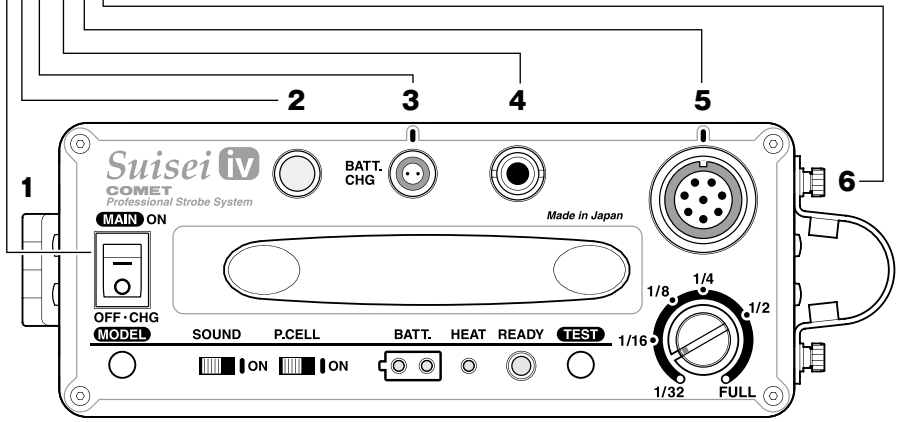


■ ストロボ電源部は使用しないときでも 1 カ月に 1 ～ 2 度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。特に 3 カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力を FULL にして最低 4 時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。
長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。

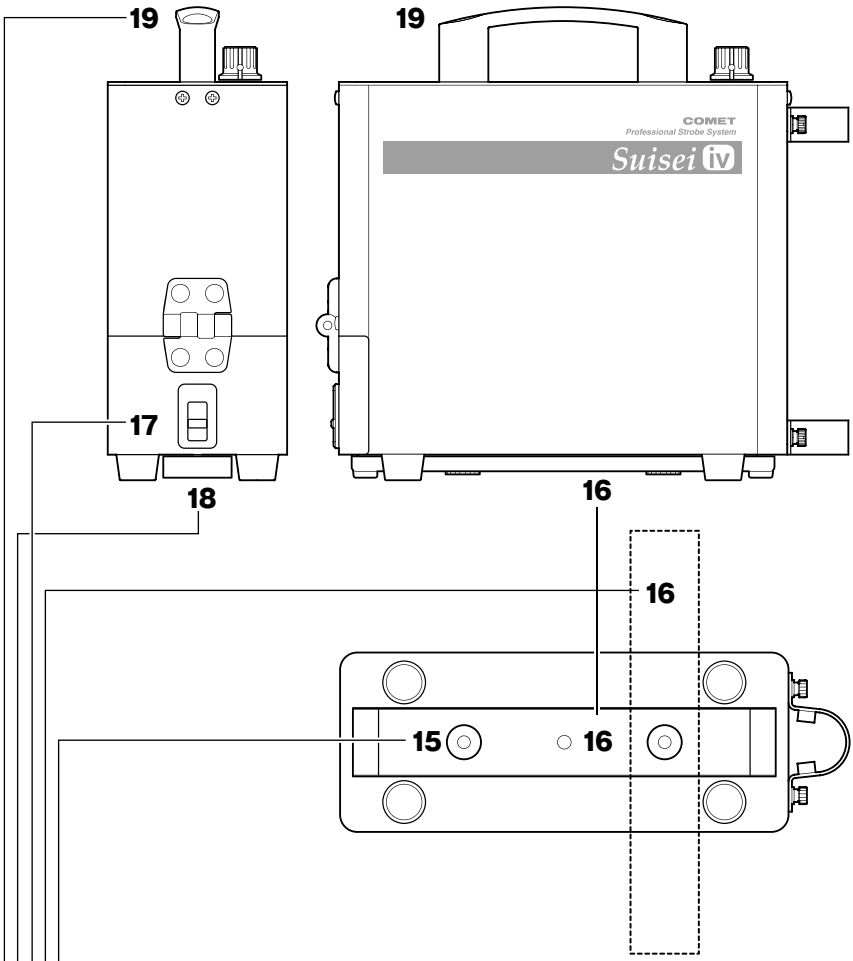
■ 赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■ 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

3 各部の名称とはたらき



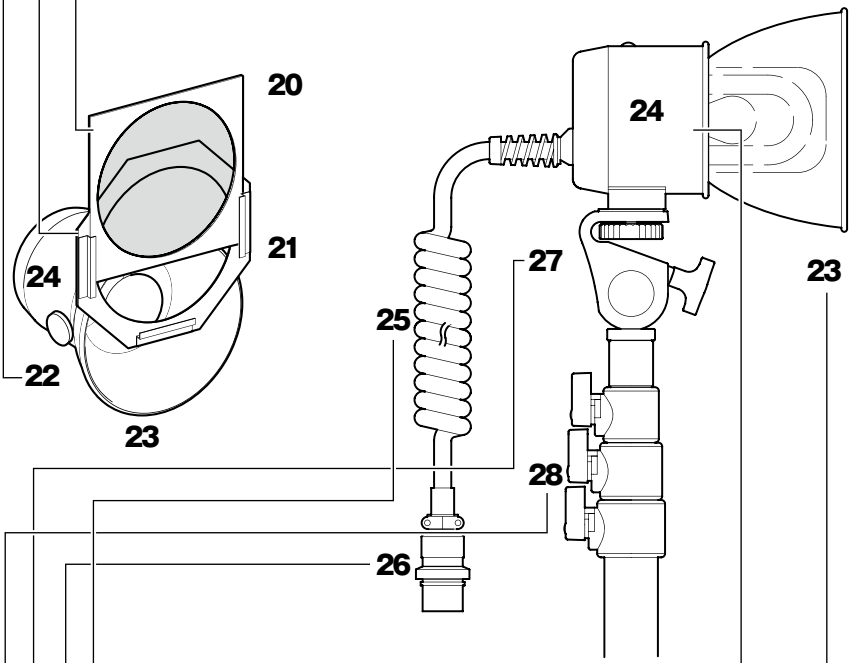
1	メインスイッチ (MAIN)	電源部を「ON/OFF」します。バッテリーを充電する際は「OFF」にしてください。
2	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。
3	充電コネクター (BATT.CHG)	充放電器 NCD-24 と接続するコネクターです。
4	シンクロソケット	ホーンジャックタイプ　CR シンクロコードでカメラと接続します。
5	出力コネクター	ヘッドを接続します。 接続時はメインスイッチを「OFF」にしてください。
6	モノポール取付金具	SUI- Ⅳ RL モノポールを固定します。
7	出力バリエーター	出力を FULL～1/32 まで無段階調光(クリック付) します。
8	テスト発光スイッチ (TEST)	レディーランプが点灯している時、軽く押すと発光します。
9	レディーランプ(READY)	チャージが完了すると点灯します。
10	ヒートランプ (HEAT)	内部の電子部品が所定の温度以上になった時、「HEAT」ランプが点滅します。
11	バッテリーインジケーター(BATT)	ニッケル水素電池 (NHB-2428) の残量を表示します。
12	フォトセルスイッチ (P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させる時「ON」します。
13	サウンドスイッチ (SOUND)	チャージ完了音の「ON/OFF」を選択します。
14	モデリングランプスイッチ	モデリングランプを「ON/OFF」します。「ON」の時、約 7 秒間点灯します。点灯中に押すと消灯します。



15	ローレット ナット	支持金具を固定します。
16	支持金具	使用時の転倒を防止します。固定している２個のローレット ナットをはずし、支持金具をいったん取り外した後、電源部と直角になるようにし、ローレットナットで再度固定します。
17	電池収納部	ニッケル水素電池 (NHB-2428) を１本収納します。
18	スライドロック	電池収納部のフタを開閉します。
19	把手	

3 各部の名称とはたらき

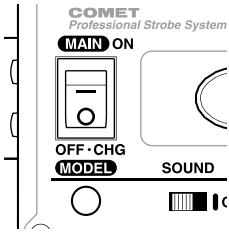
20	フィルター	付属のカラーフィルターでバックグラウンドの色演出に使用します。
21	フィルター取付枠	フィルターを入れます。
22	リフレクター固定ネジ	固定ネジをゆるめ、リフレクターの切れ込み部を固定ネジとピンに合わせて取り付け固定します。固定ネジをゆるめてリフレクターを前後にスライドすると照射角度を変えることができます。（引き出した状態で約 72° / 押し込んだ状態で約 85°）



23	リフレクター
24	ヘッド本体
25	ヘッドコード
26	コネクター
27	雲台
28	モノポール

4 操作手順

ご使用になる前に電池を充電してください。

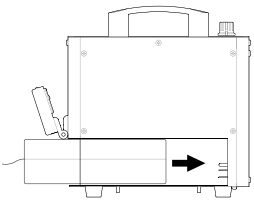


1. メインスイッチの確認

メインスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

【ご注意】

●メインスイッチが「ON」のままで電池やヘッドコネクターを差し込むとプラグやコネクターを破損します。

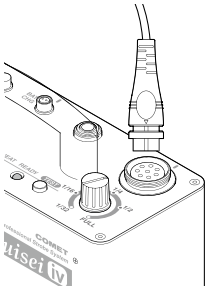


2. 電池の装着

電池収納部中央のスライドロックを上方にスライドさせロックを解除し、フタを開け充電されているニッケル水素電池（NHB-2428）を電池収納部へ装着してください。（取り出す時はベルトガイドを持って引き出して下さい。）

【ご注意】

●電池装着の際、電池のコネクター側のベルトガイドを挟み込まない様、ご注意ください。

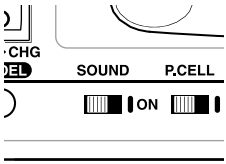


3. ヘッドの装着

電源部の出力コネクターにヘッドコネクターを差し込み必ず固定リングで固定してください。

【ご注意】

●コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが破損する恐れがあります。
また、コネクターを着脱する時はメインスイッチ（MAIN）を必ず「OFF」にしてください。



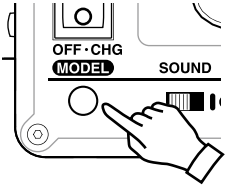
4. サウンドの選択

チャージが完了した時、電子音でしらせます。必要な時「ON」にしてください。（警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。但し、バッテリーの容量不足を知らせる警報は、サウンドスイッチを「OFF」にすると消音します。）

但し、電池が「空」になり発光不能になるとサウンドスイッチが ON ／ OFF に関係なく鳴り続けますので速やかにメインスイッチを「OFF」にして下さい。

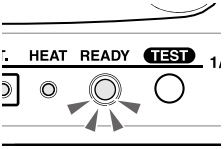
4 操作手順

5. モデリングランプ点灯の確認



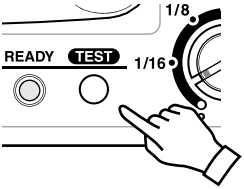
モデリングランプスイッチ（MODEL）を軽く押してモデリングランプの点灯を確認してください。点灯後約 7 秒で、消灯します。また、点灯中に押すと消灯します。

6. チャージの開始



メインスイッチ（MAIN）を「ON」にします。チャージが完了すると、レディーランプ（READY）が点灯し、発光準備が完了します。

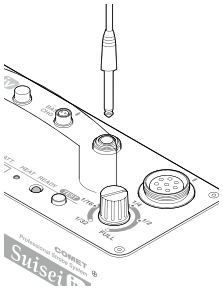
7. 発光の確認



レディーランプ（READY）が点灯時テスト発光スイッチ（TEST）を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確認してください。

- ●他のストロボ光での同調発光の確認にともない、他のストロボ光を受けて発光させるときはフォトセルスイッチ（P.CELL）を「ON」にし同調を確認して下さい。

8. カメラとの接続



シンクロコードでシンクロソケットとカメラのシンクロ　ソケットを接続します。カメラのシャッターで発光　テストを行ってください。

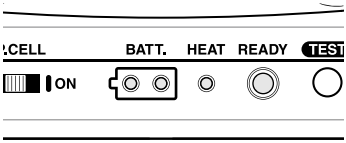
- ●本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ（同調）テストを行うことをお奨めします。

【ご注意】

- ●カメラまたはレンズにM / X接点があるときは、X 接点を使用してください。
- ●シャッター速度を 1/60 以下でご使用ください。

5 電池の残量表示

電池残量を、2 個のランプで表示します。十分に活性化された電池を FULL 充電で使用したときは、約 300 発（FULL 出力時）の発光ができます。



残量表示ランプと発光回数の関係は目安として下記のようななります。

残量表示と発光回数　　※気温（20℃～ 25℃）

	バッテリーインジケーター	発光回数
NHB-2428(ニッケル水素電池)	残量表示ランプ 2 個点灯時	約 300 回
	残量表示ランプ 1 個点灯時	約 200 回
	残量表示ランプ　全消灯時	約 100 回

上記の発光回数は電池が十分に活性化されているものを使用した場合です。
ご購入時や、長期間（1ヶ月以上）使用されなかった場合は FULL 充電を行っても所定の発光回数が得られない場合があります。
この場合は数回充放電を繰り返すことにより、リフレッシュします。

【ご注意】

- 電源部が充電完了したあと、メインスイッチを一度「OFF」にして再び「ON」にすると、電池残量表示が「FULL」表示になりますが故障ではありません。
  この時は、一度発光させると正しい表示になります。
- サウンドスイッチが「ON」の時バッテリーが容量不足（発電時等）になると警報が鳴ります。その後、10 発程度は発光可能です。
  但し、発光不能になるとサウンドスイッチが「ON ／ OFF」に関係なく鳴り続けますので速やかにメインスイッチを「OFF」にして下さい。

6 オートパワーオフ機能

約 60 分間発光操作を行わないとパワーオフとなり、電源部が OFF の状態になります。メインスイッチを一度「OFF」にして再度「ON」にするとパワーオフ機能が解除となります。

7 出力バリエーター

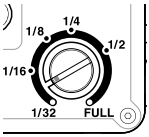
出力バリエーター（VARIATOR)は、FULLから1/32までを無段階で調光します。

1. 出力バリエーター（VARIATOR)を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げても内部のメインコンデンサーに溜められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値まで下がりません。このときは一度発光させて下さい。チャージが完了すると新たな出力値に設定されます。

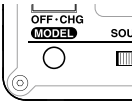
2. 出力バリエーター（VARIATOR)を上げたとき

設定された出力値まで自動的にチャージが行われますので、発光操作は必要ありません。このときはレディーランプ（READY)がいったん消灯し、チャージが完了すると再点灯します。



8 モデリングランプスイッチ

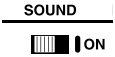
モデリングランプの「ON/OFF」を設定します。
電池の消耗を少なくするため、「ON」設定時でも約７秒で消灯します。
モデリングランプ点灯中に、再度モデリングランプスイッチを押すことで「OFF」になります。



9 サウンドスイッチ

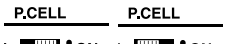
チャージが完了した時、ブザー音がなります。必要な時「ON」にします。

●サウンドスイッチが「ON」の時バッテリーが容量不足（発電時等）になると警報が鳴ります。その後、10 発程度は発光可能です。
但し、発光不能になるとサウンドスイッチが「ON ／ OFF」に関係なく鳴り続けますので速やかにメインスイッチを「OFF」にして下さい。



10 フォトセルスイッチ

他のストロボ光を受けて同調発光したい場合、フォトセルスイッチ（P.CELL）を「ON」にします。

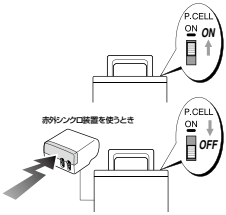


【ご注意】

●赤外シンクロ装置を使う時は必ず「OFF」にしてください。

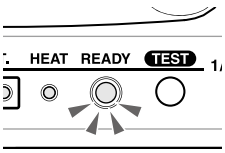
●フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。

●同調発光をさせない時は「OFF」にしてください。



11 不発光警報

発光操作を行っても、発光しなかった時はレディーランプ（READY）が点滅し、ブザー音が鳴り、不発光をしらせます。



●チャージ完了前に発光操作を、行った時も同様に警報がでます。

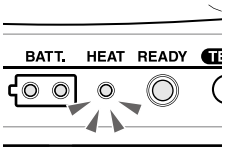
●警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。

■警報の解除

チャージ完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。または、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることでも解除されます。

12 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になった時、過熱警報（HEAT）ランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。この時は、ただちに使用を中止してください。



●警報はサウンドスイッチが「OFF」でも鳴ります。

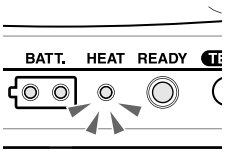
【ご注意】

●過熱警報作動時は、モデリングランプを点灯することは、できません。

13 専用ヘッド以外のヘッドの使用について

本機は専用ヘッドの他に PMT-12 ヘッド/PMT-12 ワイドヘッドが使用できます。また、PMT 変換コード（別売品）を接続して CX タイプのヘッドがご使用になれます。

※詳細は弊社営業所または販売店にご確認ください。



【ご注意】

●モデリングランプ/ ファンは動作しません。

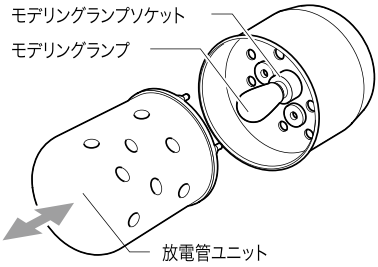
● CX-12 バイチューブヘッドは使用できません。

14 放電管ユニットの交換

1. 電源部のメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ず ヘッドコードをコネクターから抜いてください。

ヘッドコードを抜かないと感電の恐れがあります。

2. リフレクターを外し、放電管ユニットを持って、まっすぐ手前に抜いてください。放電管ユニットが固いときは軽く上下左右にひねるようにして手前に抜きます。
3. 取り付けるときは、逆の手順で行ってください。

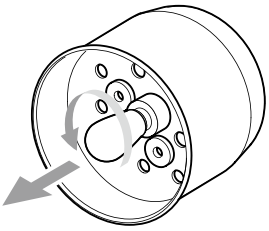


【ご注意】

- 中心部にはモデリングランプがセットされています。放電管ユニットを外すとき、割らないようにまっすぐ抜くようにしてください。
- 使用直後のヘッドは高温になっています。特に放電管ユニット、モデリングランプをつかむときは状態をよく確認してから行ってください。

15 モデリングランプの交換

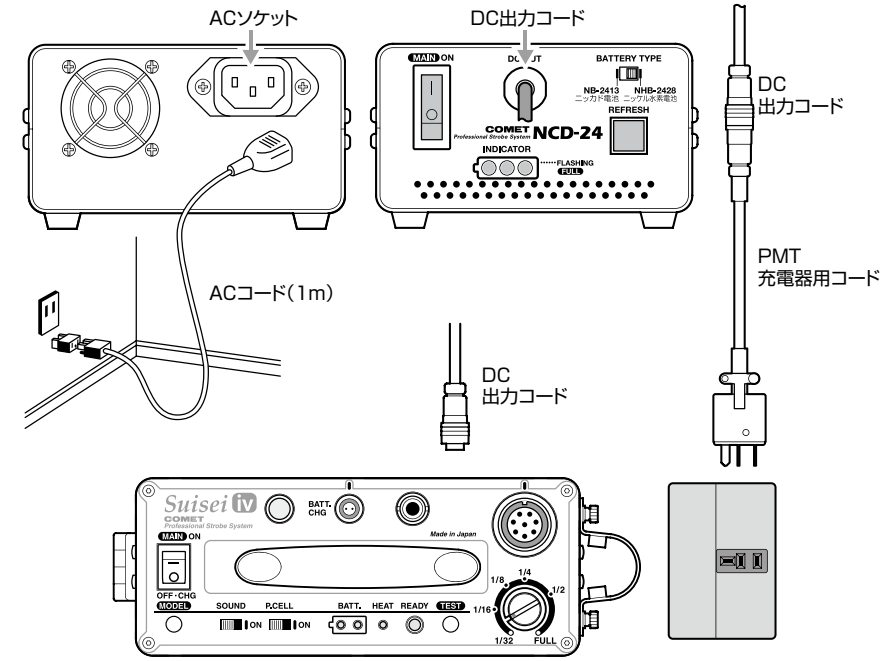
1. 電源部のメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずヘッドコードのコネクターを抜いてください。
2. リフレクターを外し、放電管ユニットを持って、まっすぐ手前に抜いてください。
3. モデリングランプのソケットはスワンタイプです。外す時は反時計方向に回し、取り付ける時は時計方向に回してください。

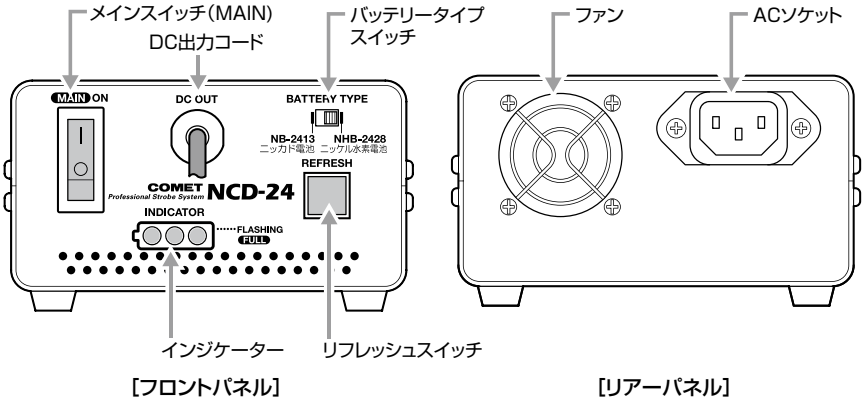


■消灯後は非常に高温です。
十分に温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。

16 充放電器

■ 充放電器(NCD-24)の接続方法と各部の名称





[フロントパネル]　　[リアーパネル]

■ 電池の充電方法

1. 充放電器のメインスイッチ（MAIN）と Suisei-Ⅳ 電源部のメインスイッチ（MAIN）が「OFF」になっていることを確認したうえで、DC 出力コードを Suisei Ⅳ 電源部の電池充電コネクターに接続します。

2. 充放電器のバッテリータイプスイッチで NHB-2428（ニッケル水素）を選択します。PMT 用電池 NB-2413（ニッカド電池）の場合は NB-2413 を選択してください。【ご注意】選択をまちがえると発熱し、故障の原因となります。

3. 充放電器の AC ソケットに AC コードをしっかりと差し込みます。3PAC プラグ変換アダプターを取り付け、次に AC コンセントに接続します。

4. 充放電器のメインスイッチ（MAIN）を「ON」にするとインジケーター 1 灯が点灯し、充電が始まります。

5. 充放電器のインジケーターが 3 灯点滅すると充電完了です。
充電は NB-2413 が約 1 時間、NHB-2428 は約 2 時間で完了します。

●電池を本体から取り外して、別売の「PMT 充電器用コード」に接続して充電することもできます。

■ リフレッシュ機能

発光回数がメモリー効果等で所定の回数まで発光しなくなったときに使用します。
リフレッシュ時間は、フル充電の状態で約 3 時間かかります。

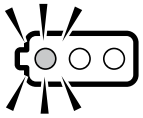
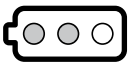
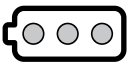
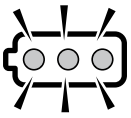
<操作方法>
電池の充電方法と同じに一旦、充電を開始します。
その状態でリフレッシュスイッチを押すと、リフレッシュ表示が点灯して、放電を開始します。
電池の電圧が所定の電圧まで下がると放電を停止して、通常の充電を開始します。

<解除方法>
リフレッシュを途中で中止するときは、メインスイッチを「OFF」にしてください。
メインスイッチを「ON」にすると、通常の充電が開始します。

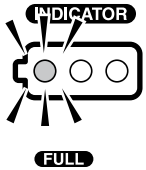
ご注意

- 満充電の電池をリフレッシュすると数時間かかりますので、極力、電池が空の状態で使用してください。
- 電池を充電するときは、電源部のメインスイッチを「OFF」にして行ってください。
- 充電しながらのストロボの使用は避けてください。機器類の故障の原因になります。

■ 充電表示について

1 充電開始	2 充電中	3 充電中	4 充電完了
			
電池を接続してメインスイッチを「ON」にすると、インジケーターのランプが1灯点灯し、充電がはじまります。			充電が完了すると、3灯のランプが点滅し、同時に約4秒間ブザーが断続して鳴ります。
放電した電池はNB-2413が約1時間、NHB-2428は約2時間で充電が完了します。			

ご注意ください



充電表示ランプが1灯点滅するときは、次のような場合です。

①電池を接続せずにAC電源が投入されている
→直ちに電源を「OFF」にする

②電池を連続使用したあとで、内部温度が高い
→温度が下がるのを待つ

③出力コード、または充電用コード等が不良
→要修理

■ 海外で使用するとき

充放電器は、AC100～120V/200～240Vの地域でご使用になれます。

ご注意

- 海外で使用する場合、使用先の電源コンセントに合った変換プラグをご使用ください。

■ 充放電器出力プラグの脱着

充放電器の出力プラグを電源部から抜くときは、プラグのロックリングを持って、抜いてください。ロックが解除され、プラグが抜けます。

■ 電池の過放電劣化について

電池を過放電（電源を使用状態で長時間放置する等）すると、電池の劣化より電池不良判定機能がはたらき充放電器での電池充電ができないことがあります。

■ 電池の取扱について

1. 使用温度について

- 使用温度は、0℃～45℃の範囲内で使用してください。
  0℃以下や45℃以上では電池容量が少なくなり所定の発光回数が得られなかったり、性能劣化の原因となる場合がありますのでご注意ください。

2. 寒冷地での使用について

- 電池が0℃前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温（20℃～25℃）になるように暖めてください。（カイロなど）
- 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

3. 充電について

- 充電時の周囲温度は0℃～40℃の範囲内で行ってください。特に効率がよいのは、10℃～30℃です。
- 10℃以下、あるいは40℃以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

4. 保存について

- 保存温度は -10℃～30℃の範囲で、乾燥した場所を選んでください。
- 長期にわたる保存は自己放電や電池内部の不活性化により、初回充電では充分に充電されないことがあります。その場合、充放電を繰り返すことにより特性が回復します。
- 保存期間が1～3ヶ月以内の場合、電池はFULLまたは放電状態どちらでもかまいません。
- 保存期間が3ヶ月を越える場合には、放電状態で保存することが理想です。
- 6ヶ月以上長期保存の場合は、自己放電による性能劣化や液漏れ防止のため、最低3ヶ月に1回は充放電を数回繰り返し行ってください。

5. 電池の発熱について

- 電池は連続発光などで所定の温度以上に発熱すると、電池内部の温度センサーが働いて、電池保護のため電池内部の回路が「OFF」になることがあります。
- 充放電器の充電表示ランプが点滅するときは、いったん充電を止めて、電池の温度が下がるのを待ってください。

6. 長期間の放置について

- 充電した電池を長期間放置しておくと自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電を行ってください。

■ご注意とお願い

●電池は絶対に分解しないでください

電解液が漏れると強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。

●電池をショートさせないでください

電池をショートさせると大電流が流れ、電池を損傷させたり、電池の発熱でやけどの恐れがあり、大変危険です。

●電池を火中に投入しないでください

電池が破裂することがあります。

●専用充電器以外は使えません

電池と充電器は専用のものをお使い下さい。

- PMT用充電器(NC-24/NC-24Ⅱ)ではNHB-2428(ニッケル水素電池)は充電できません。

●電池を他の用途に転用しないでください

仕様の違いにより電池を損傷させたり、機器が損傷することがあります。

●高温になる場所に長時間放置しないでください

夏期の閉めきった自動車内や直射日光の当たる所など、高温になる場所に長時間放置しないでください。電池や使用部品の寿命が短くなることがあります。

17 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理･点検にお出しになる際は、電源部･ご使用中のすべてのヘッド･ヘッドコード･ＡＣコード･シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にＡＣプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

18 仕様

Suisei-Ⅳ　電源部

型式	SUI-4
電池	DC24V（ニッケル水素電池 NHB-2428）
最大出力	３００Ws
出力コネクター数	1（PMT コネクター）
ストロボ調光方式	電圧調光
ストロボ調光範囲	FULL～1/32
調光ステップ	無段階調光（クリック付）
充電時間	約 2.2 秒（電池 FULL 充電時）
発光回数	約 300 回（電池 FULL 充電 FULL 出力時）
電池残量表示	2 個のランプで表示
オートパワーオフ	約 1 時間でパワーオフ
充放電器	NCD-24
充放電方式	電池内蔵状態で外部充電器を接続し充電
	電池を取り外して充電／放電
モデリングランプ	35W DC24V
モデリングスイッチ	ON の時　約 7 秒間点灯
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ× 1
フォトセル	内蔵（スイッチ付）
サウンドモード	充電完了音 ON ／ OFF（EMPTY 警報連動）
過熱警報	ランプ点滅とブザーによる連続音
寸法	210（w）X187（h）X84（d）㎜
重量	2 ㎏（本体）+1.3 ㎏（電池）

Suisei-Ⅳ RL ヘッド

型式	SUI-4RLH
最大入力	300Ws
モデリングランプ	35W DC24V
標準フィルター	209（ND3）/129（ヘビーフロスト）/101（イエロー）
	124（ダークグリーン）/158（ディープオレンジ）
	165（デーライトブルー）
照射角 / G No.（ISO100/m）	レフ前　72゜/ G No.30（FULL 出力時）
	レフ後　85゜/ G No.27（FULL 出力時）
寸法	117（φ）X143.5（d）㎜
重量	0.7 ㎏

18 仕様

充放電器

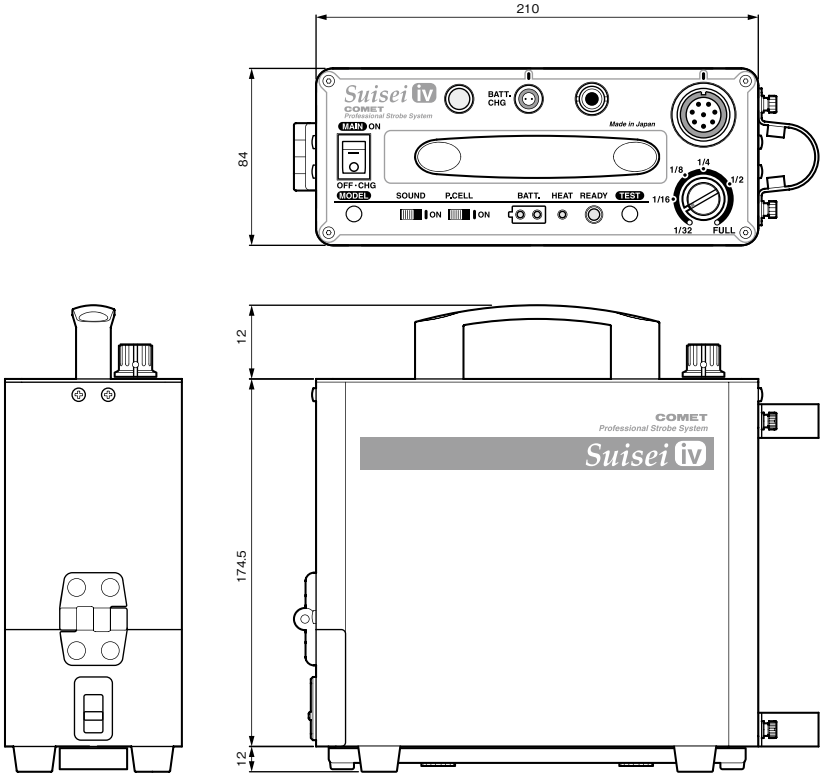
品名	充放電器 (PMT 用)
型式	NCD-24
定格電圧	AC100V~120V AC200V~240V ±10% (自動切換) 50/60Hz
適用電池	ニッケル水素電池(NHB-2428)・ニッケルカドミウム電池(NB-2413)
バッテリータイプスイッチ	ニッケル水素電池／ニッケルカドミウム電池を選択します
充電時間	約 120 分：ニッケル水素電池 (NHB-2428)
	約 70 分：ニッケルカドミウム電池 (NB-2413)
充電中表示	3 灯の LED ランプ (充電が進行すると順次点灯)
充電完了表示	3 灯の LED ランプ点滅とブザー断続音
充電異常警報	ブザー連続音 (充電中の電池が不良の場合)
寸法 (mm)	122 (w) × 71 (h) × 200 (d)
重量	860 g (AC コード 1m 160 g) 別

電池

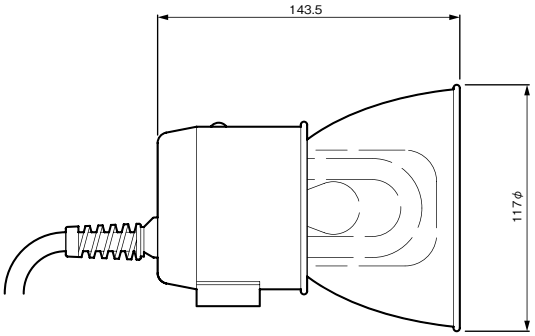
品 名	ニッケル水素電池 (PMT 用)
型 式	NHB-2428
公称電圧	24V
定格容量	2800mAh
寸 法	74 (w) × 164 (h) × 50 (d) mm
重 量	1.3kg

19 寸法図

Suisei-Ⅳ 電源部



Suisei-Ⅳ RLヘッド



COMET コメット株式会社

彗星Ⅳ電源部とヘッドの接続時における各コード使用制限表

○：通常使用可　△：ｽﾄﾛﾎﾞのみ発光可　×：使用不可

	通常使用	PMT延長ｺｰﾄ ※2	LB延長ｺｰﾄﾞ ※3	PMT変換ｺｰﾄﾞ
彗星-Ⅳ RLヘッド	○	△	×	
PMTヘッド（モデリングなし）	○	○	×	
LB-4ヘッド	×	×	×	
CXタイプヘッド　※1		△	×	△ ※4

※1　CXｼﾘｰｽﾞﾍｯﾄﾞのPMT・LB延長ｺｰﾄﾞ使用時は、PMT変換ｺｰﾄﾞ(PMT→CX)と一緒に使用。
ただし、CXバイチューブヘッドは使用できません

※2　PMT延長ｺｰﾄﾞ(027062)　３ｍ

※3　LB延長ｺｰﾄﾞ (027064)　３ｍ

※4　PMT変換ｺｰﾄﾞ(PMT→CX)(027037)

※5　PMT・LBシリーズの電源部で彗星-Ⅳ RLヘッドは発光しません。

MEMO

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検　査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか		
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®　コメット株式会社

本社 ——— 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 ——— TEL.(03)3264-8621 FAX.(03)3264-6385
札幌営業所 ——— 〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目 ——— TEL.(011)561-2488 FAX.(011)563-2620
仙台営業所 ——— 〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイム101 — TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課 ——— 〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20 ——— TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課 — 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 ——— TEL.(03)3264-8625 FAX.(03)3264-8628
東京営業所 デジタルイメージング — 〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20 ——— TEL.(03)5245-3831 FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所 ——— 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F — TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課 ——— 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22 ——— TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課 — 〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22 ——— TEL.(06)6536-1667 FAX.(06)6536-4020
広島営業所 ——— 〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ —— TEL.(082)293-0075 FAX.(082)293-0076
福岡営業所 ——— 〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4 ——— TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課 — 〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4 ——— TEL.(092)411-1254 FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所 ——— 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 ——— TEL.(03)3264-8623 FAX.(03)3264-9906
海外事業部 ——— 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 ——— TEL.(03)3264-8622 FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部 — 〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20 ——— TEL.(03)5245-3834 FAX.(03)5245-3836
産業機器部 ——— 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6 ——— TEL.(03)3264-8692 FAX.(03)3264-8624

URL http://www.comet-net.co.jp　E-mail mail@comet-net.co.jp

0609-0030A-5